

# 公共図書館におけるデジタルアーカイブ

## 収集・制作管理・公開

### 事例と課題

平成23年11月

大日本印刷(株)

盛田 宏久

# 収集・制作管理・公開：DNPグループの電子図書館サービス

①

## 新刊既刊図書のデジタル化配信

- ① 学習・教育系(専門書、教科書、実用書)
- ② レファレンス系(論文、辞書、判例)
- ③ 情報伝達系(ニュース、雑誌、既刊号)
- ④ エンタテインメント系(文芸・小説・コミック)

②

## 図書館所蔵等地域資料公開

- ① 稀少／貴重書(古典、歴史文化)
- ② コレクション(独自資料)
- ③ 地域・郷土情報(新聞、雑誌、自治体関係資料)

③

## 図書館発！情報発信ツール

- ① 図書館報
- ② 利用者向けサービス情報
- ③ その他、新しい用途として



利用者は、図書館内のPC、自宅のPCで、貸出期間内で利用することが可能

## 大学図書館



## 公共図書館



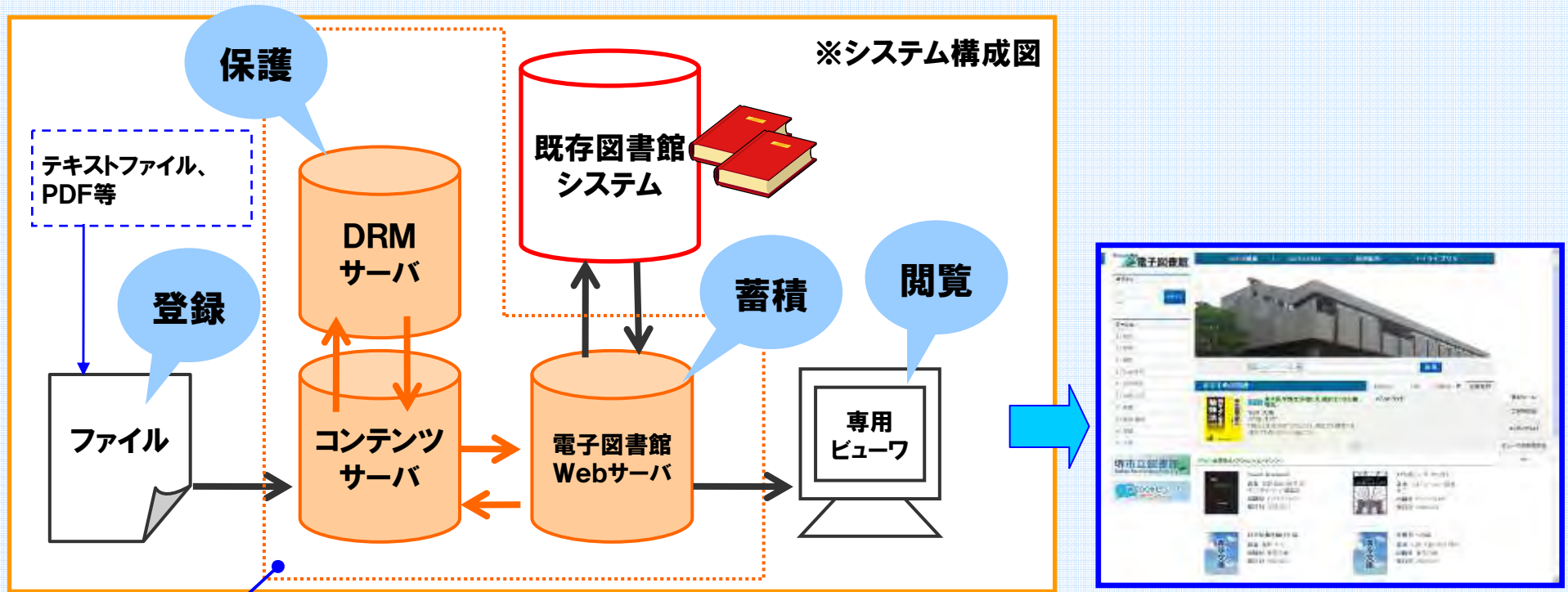
## 各種図書館



各図書館にASP配信

# 収集・制作管理・公開：DNPグループの電子図書館サービス(ハイブリッド図書館)

●紙の本と電子書籍を同時に検索し、貸出、閲覧、返却が可能



## <電子図書館プラットフォーム>

- デジタルコンテンツの登録
- Webサイトでの公開
- DRMによるコンテンツ保護
- 専用ビューワによる閲覧

▶ これらの機能をASPで提供

# 収集・制作管理・公開：取組事例紹介（萩市立萩図書館）

The screenshot shows the 'あいほり' digital library interface. At the top, there are navigation tabs for 'コンテンツ検索', 'コンテンツリスト', '利用案内', and 'マイライブラリ'. A search bar is visible with '萩市立萩図書館' entered. Below the search bar is a large banner image of the library building with a sign that reads '萩 あいほり 萩市電子図書館'. To the left of the main content area is a sidebar with a 'ログイン' section and a 'ジャンル' (Genre) list. The main content area features a '新刊' (New Publications) section with a book titled 'twitterの本' and a 'お知らせ' (Notice) section. Below these is a 'ジャンル別コレクションコンテンツ' (Genre-based Collection Content) section. A red box highlights a link labeled 'WBOOKビューワダウンロード' in the sidebar. A blue arrow points from this link to a book listing for '投獄集' (Toukoku Shū) in the main content area. The book listing includes the author '高杉晋作' (Takasago Shinsaku), publisher '萩市立萩図書館', and publication date '2011/01/01'. To the right of the book listing is a '便利ツール' (Convenient Tools) section with links for 'ご利用方法', 'コンテンツリスト', and 'ビューワの利用方法'. At the bottom of the page, there is a 'WBOOKビューワダウンロード' button.

『投獄集』  
著者 高杉晋作  
萩市立萩図書館資料



# 収集・制作管理・公開：DNPグループの電子図書館サービス（紙&電子書籍のMARC）

これまで制作してきた図書館向け書誌データベースTRC MARCは電子書籍にも対応し、図書館と利用者のニーズに対応。

検索結果書誌一覧

「全項目=絶滅した哺乳類たちこの言葉を含む」&「所蔵種=全て」の検索結果です。  
該当件数は 3 件です。1 件目から 3 件目を表示しています。  
■は新着資料、■は予約の無い資料です。

検索結果一覧表

No.	書誌種別	書名	著者	出版者	出版年月	分類	貸出
1	図書(和書)	絶滅した哺乳類たち	富田 幸光/文	丸善	2002/08	457.89	○
2	電子書籍	絶滅した哺乳類たち	富田 幸光/文	丸善	2002/08	457.89	×
3	図書(和書)	絶滅哺乳類図鑑	富田 幸光/文	丸善	2002/03	457.89	○

WEB OPACからの検索した結果の書誌一覧

「図書」「電子」が同時に検索対象となり表示されます。利用者と図書館員の利便性に適います

書誌TRCMARC(タイプ)電子書籍版(=右図)がWEB上で表示される資料情報

「絶滅した哺乳類たち」資料情報

タイトルコード	1007000033074
書誌種別	電子書籍
著者名	富田 幸光/文
著者名ヨミ	トミダ ユキミン
出版者	丸善
出版年月	2002.8
ページ数	64p
ISBN	4-621-07076-2
分類記号	457.89
書名	絶滅した哺乳類たち
書名ヨミ	ゼツメツ シタ ホニウルクイタチ
内容紹介	鼻の上に巨大なツツをもつフロントテリウムなど106種の絶滅哺乳類を精密なイラストで復元し、個々の種について解説する。2002年3月「絶滅哺乳類図鑑」から主要なものを選び再編集したもの。
著者紹介	1950年愛知県生まれ。米国アリゾナ大学大学院博士課程修了。国立科学博物館地学研究部古生物第三研究室長。専門は古脊椎動物学。
件名1	古生動物学
件名2	哺乳類
件名3	絶滅(生物学)

電子図書館で見る

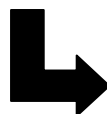
```

*****020402690000 11
000A0001 F
000L0001 0001
001A0001 X
005A0001 20101224
010A0001 4-621-07076-2
010D0001 2002.8
030A0001 020402690000
100A0001 20101224 2002 JPN
102A0001 JP
121C0001 L
121E0001 A
132A0001 I
251A0001 絶滅した哺乳類たち
251F0001 富田/幸光?文
251F0002 伊藤/阿達?イラスト
251F0003 国本/孝子?イラスト
251Z0001 110002103210000
251Z0002 110003789820000
251Z0003 110003789830000
270A0001 東京
270B0001 丸善
270D0001 2002.8
270Z0001 810000197720000
275A0001 64p
377J0001 鼻の上に巨大なツツをもつフロントテリウムなど106種の絶滅
551A0001 1ゼツメツシタ?ホニウルクイタチ
551X0001 Zetsumetsu/shita/honyurukuchi
653A0001 コセイ?ドウブツカク
653A0002 ホニウルクイ
653A0003 ゼツメツ(セイブツカク)
653B0001 古生動物学
653B0002 絶滅哺乳類
653B0003 絶滅(生物学)
653X0001 Kozai/dobutsugaku
653X0002 Honyurui
653X0003 Zetsumetsu/shita/honyurukachi
653Z0001 5107882000000000
653Z0002 5115206000000000
653Z0003 5116076000000000
659A0001 47
677A0001 457.89
677C0001 457.89
690A0001 トセ
690T0001 751A01
751A0001 トミダ,ユキミン
751A0002 イトウ,アキオ
751A0003 オカモト,ヤスコ
751B0001 富田/幸光
751B0002 伊藤/阿達
751B0003 国本/孝子
751J0001 1950年愛知県生まれ。米国アリゾナ大学大学院博士課程修了
751N0001 110002103210000
751N0002 110003789820000
751N0003 110003789830000
751X0001 Tomida,Yukimin
751X0002 Ito,Aki
751X0003 Okamoto,Yasuko
770A0001 マルゼン
770D0001 200208
770H0001 7924
770X0001 Maruzen
80120001 trcmarc
801A0001 JP
801B0001 TRC
801C0001 20101224
801C0001 NCR1987
    
```

(堺市立図書館様の事例より)



原資料

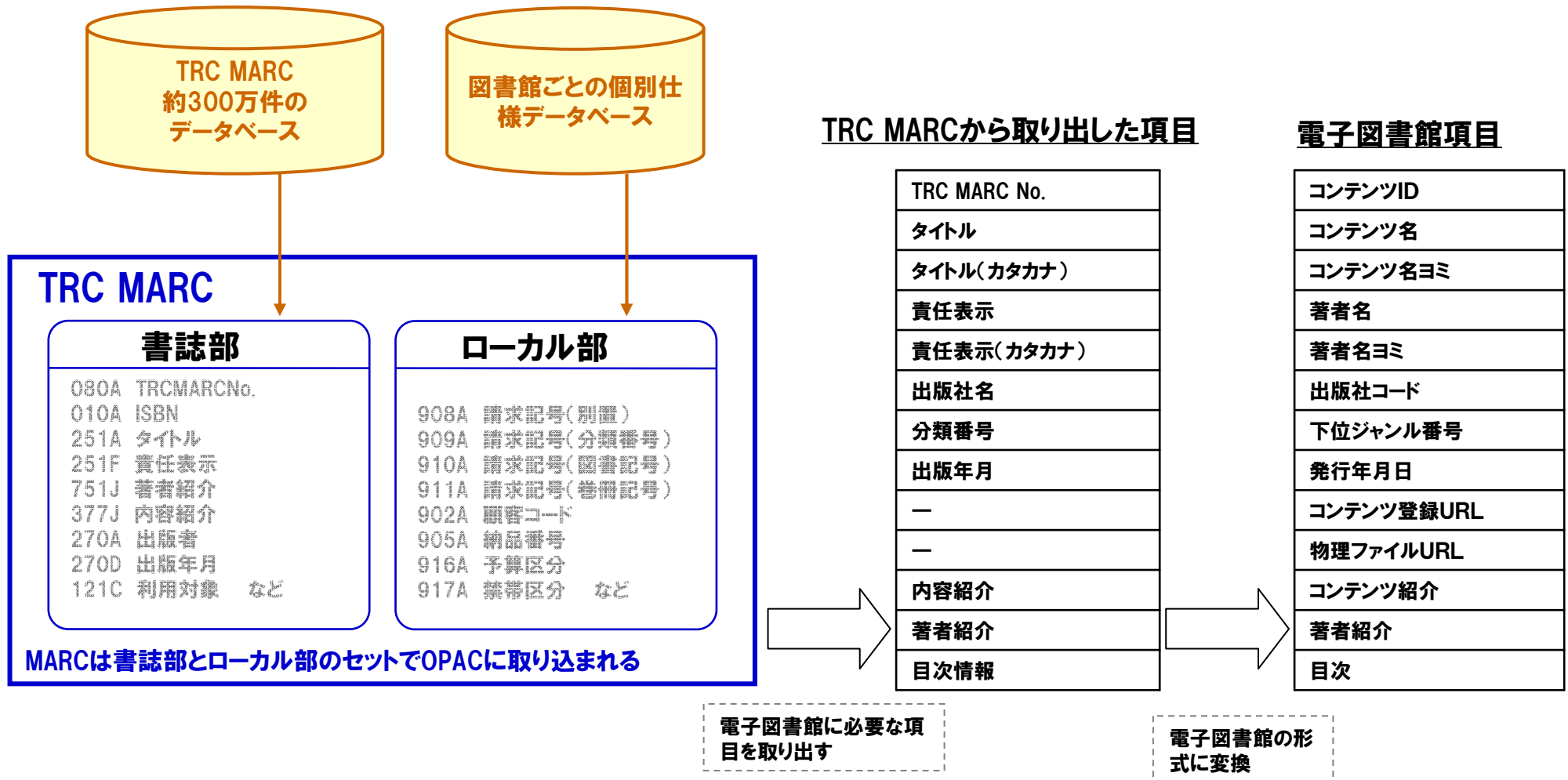


### 作成データ

写真 016*KD526 501-580		1/1
資料番号: 1104182330 KD-526-502		1839
251A1 タイトル	白木屋呉服店 (シロキヤノゴフクテン)	
251B1 サブタイトル1	日本橋通り (ニホンバシドオリ)	
251B2 サブタイトル2		
251B3 サブタイトル3		
251D1 巻次、巻タイトル		
251F1 製作者1		
251F2 製作者2		
251F3 製作者3		
270B1 出典・所蔵	建築写真類聚 商店建築 巻1 (ケンチクノシャシンノレイジュノショウテンノケンチク)	
270D1 製作日	大正	
658B1 作名	百貨店-白木屋-大正 (ヒヤッカテン-シロキヤ-タイショウ)	
650B1 個人件名		
350A 注記	モノクロ ネガ番号 5-10-28	
377B1 抄録	(場所)日本橋通一丁目ノニホンバシドオリイッチョウメ (建物)白木屋呉服店ノシロキヤゴフクテン (交通)自転車 人力車 (風俗)和服	
360B1 価格		
275B1 大きさ	12×17cm	
251W1 資料形態	写真	
memo		



# 収集・制作管理・公開：DNPグループの電子図書館サービス（TRC MARCを中心に管理）



※請求記号など各図書館に固有の情報はローカル部に登録される。

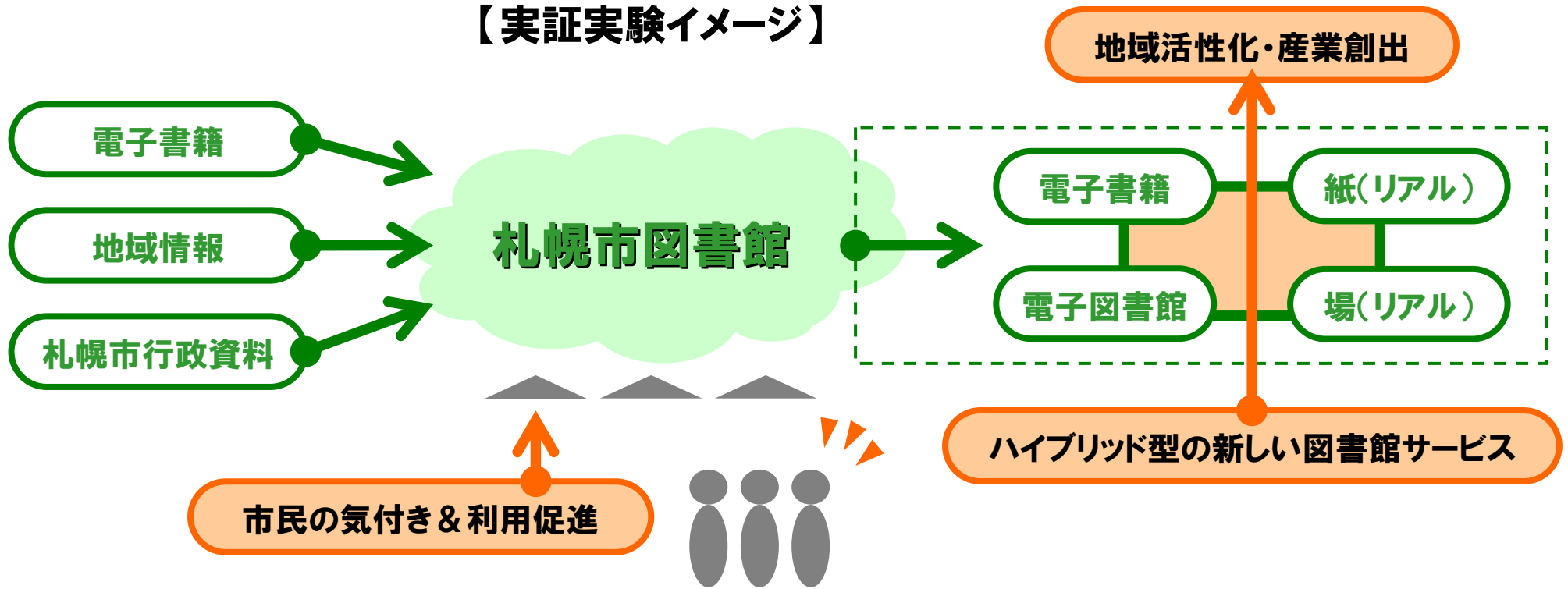
※現時点では、電子書籍（≒電子図書館システム）に固有の情報もローカル部で管理。

# 収集・制作管理・公開：取組事例紹介(札幌市中央図書館)

The screenshot displays the website for the Sapporo Municipal Central Library. At the top, there is a navigation bar with links for '資料検索' (Search), '資料リスト' (List), '利用案内' (Usage), and 'マイライブラリ' (My Library). The main header features the library's name in Japanese and English, along with a search bar and a '検索' (Search) button. Below the header, there is a large banner for '電子図書館実証実験' (Digital Library Pilot Experiment) with the library's name. A search bar with a dropdown menu for 'コンテンツ名' (Content Name) is positioned below the banner. The left sidebar contains a 'LOGIN' section with ID and PW fields, a 'CATEGORY' section with a tree view of subjects, and a 'ページが表示されました' (Page displayed) message at the bottom. The main content area is divided into three sections: '今月の推薦図書' (Recommended Books of the Month) featuring a book titled '新刊 札幌市住宅マスタープラン2011...' (New Publication: Sapporo City Housing Master Plan 2011...), 'お知らせ' (Notice) with a FAQ link and two bullet points about search engines and digital library readers, and '札幌市の出版社' (Publishers in Sapporo) with four book covers and their respective publishers: 'e-家に住みたい' (e-I want to live in a house) by Hokkaido Housing News, '超大物イベントが待' (Big event is waiting) by Suirensha, and 'foura 32号' (foura 32) by Nature Magazine.



【実証実験イメージ】



○図書館の持つ課題...

- \* 冬場の積雪ゆえ利用が困難(障害者・高齢者だけでなく)
- \* 地場の版元多数、市広報誌も大部数だが認知度低い(リーチしない)
- \* 地域コミュニティの情報発信ハブを図書館が担えるか(検証)

地域独自資料：公共関連



地域独自資料：地元出版社等



## 電子図書館にて保存・公開



広報さっぽろ  
昭和25年（初号）～1304冊

札幌市中央図書館  
Sapporo Municipal Central Library

資料検索 | 資料リスト

LOGIN  
sapporo1さん  
ようこそ  
ログアウト  
管理者

コンテンツ名

ホーム > 広報さっぽろ > 広報さっぽろ > 広報さっぽろ  
※ 図書レビュー | Book Review

CATEGORY

- 全体カテゴリ
- 札幌市
- 広報さっぽろ
- 哲学
- 歴史
- 社会科学
- 自然科学
- 技術
- 産業

広報さっぽろ 1950年  
著者 札幌市  
出版社 札幌市  
発行日 2011.10.02  
図書タイプ PDF  
対応機種 PC



# 収集・制作管理・公開：取組事例紹介(札幌市中央図書館)



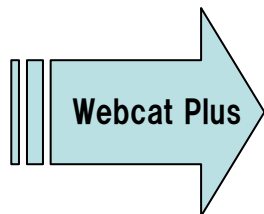
No	アイコン	提供元	タイトル	作者/著者	公開者/出版者	発行日
1.		NDL和図書/雑誌	広報さっぽろ. 中央区版	札幌市	札幌市	1969-1969
2.		NDL和図書/雑誌	さっぽろ	札幌市	[札幌市総務局]	1961-1961

## 書誌 詳細表示

所蔵詳細/申込み

### 書誌情報 雑誌新聞(1/1件目) [他のデータベースへ](#) [全項目表示](#)

請求記号 Z8-584  
 タイトル 広報さっぽろ. 中央区版  
 巻次・年月次 106号(昭44年1月)-  
 出版地 札幌  
 出版者 札幌市|| サッポロシ  
 出版年 1969-  
 形態 : 30cm  
 注記 基本標題:144号(1972年3月)まで 広報さっぽろ  
 注記 大きさ変更あり  
 注記 別冊(「広報さっぽろ 区版合本」)とも  
 刊行頻度 M: 月刊  
 改題情報 継続前誌: さっぽろ  
 全国書誌番号 00008134  
 旧和送ID番号 8134  
 団体・会議名標目 札幌市|| サッポロシ  
 NDLC ZG8  
 本文の言語コード jpn: 日本語  
 書誌ID 000000008073



The screenshot shows the Webcat Plus interface with search results for '広報さっぽろ. 中央区版'. It includes a search bar, a list of search results, and a detailed view of the selected item. The detailed view shows the title, author (札幌市), and other metadata. There are also links to related items and a list of libraries that hold the item.

### ①収集

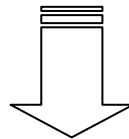
- ・ 様々な情報を体系的に収集できる場所は？
- ・ 今後ボーンデジタルが急増！ その対応は
- ・ 例えば、全ての図書館に電子納本制度を導入。
- ・ 集めるのではなく、集まる手法（制度）が必要

### ②制作管理

- ・ 何のために・どのような基準でデジタル化するか、曖昧なケースが多い。  
→ とりあえず予算がついたから、デジタル化だけ実施。

### ③公開

- ・ アーカイブが構築できれば、次に公共図書館間で相互連携したい要望多数。
- ・ まずは、縁のある図書館間で連携。引き続き、NDL、都道府県立と連携。
- ・ 一方で、著作権処理に苦勞、知識不足。オプトアウトは？



様々な情報を収集、整理、長期間保存・管理、公開可能なのは図書館では。



## 収集・制作管理・公開：公共図書館(館長・運営者)の声

- 電子化に伴い、図書館として、一般に広く流通していない郷土資料を電子化していくことは取り組んでいかなければならないと考える。電子化の普及は、公共図書館の存在意義や意味を改めて見直すよい機会かもしれない。
- 地方の図書館、特に人口の少ない図書館、図書室では、まだインターネットによる検索や貸出もできていないところなので、電子化は当分の間困難ではないかと思います。まず、県立図書館で取り組み、それを活用することから始まっていくと思います。
- 貸し出しによる資料の紛失、破損等の心配がなくなり、非常に管理しやすくなると思いますが、地方において資料の電子化が進まないのは財政の負担が大きいためだと思います。
- 地方の小規模図書館では、今すぐ電子化へ向かう状態ではない。現図書館（紙書籍主体）での利用者サービスに努力している段階であり、情報サービス（インターネット、パソコン、CD・DVD貸出、映像、音楽の視聴設備など）の環境も整備されていない。また、電算化されていない図書館（室）もあり、さらに電子化に要する費用の問題（一番重大）が起こる。
- 図書資料費にも修理費にも爪の先に火を灯すような現状で、予算を確保できる市町村がどれくらいあるのか？ できる環境の図書館が見本を示し、市民の声をあげてもらうことから始まるのかもしれない。
- 電子化が進んでいけば当然のことながらそのメリットを活かした図書館の活動・事業が求められるし、図書館員の質にも影響してくる。これからは電子端末やシステムに精通した人材が必要になる。

### 図書館の声！

# 日比谷図書文化館

千代田区立 日比谷図書文化館  
2011年11月4日(金) OPEN!



読む・調べる・学ぶ・楽しむ・交流する・創造する...  
都会のオアシスに“知の拠点”が誕生!

### 日比谷図書文化館 施設概要

開館時間 平日10:00~22:00 土10:00~19:00 日祝10:00~17:00  
休館日 毎月第3月曜日及び、年末年始、特別整理期間  
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4  
\*4F 施設事務室(代表) TEL 03-3502-3340  
\*2F 図書総合カウンター TEL 03-3502-3343  
<http://hibiyal.jp>

都営三田線「内幸町駅」徒歩3分  
東京メトロ 千代田線・日比谷線・丸ノ内線「霞ヶ関駅」徒歩5分

開館記念展示 日比谷が熱く燃えた日 団塊の青春グラフィティ  
11月4日(金)~12月28日(水) 料金300円(区内在住者は150円)



千代田区立 日比谷図書文化館  
Hibiya Library & Museum

## “日比谷図書文化館とは”

それは単なる図書館ではありません。「図書空間」「展示空間」「交流空間」からなる総合的な知的レベル向上をめざす、これまでにない“知の拠点”です。

- 一、伝統ある「旧・都立日比谷図書館」の図書館サービスを継承しつつ、ビジネス支援やアート情報支援など幅広い資料を提供するなど、さらなる発展をめざします。
- 一、千代田区立四番町歴史民俗資料館の機能を移管し、野上「千代田」の歴史と文化を学ぶ場を提供します。
- 一、講座、セミナー、シンポジウムなど様々な情報交流の場を展開し、区民の皆様、在勤・在学の皆様の“知識の入口”として役立つことをめざします。

- 1 大ホール**  
【日比谷コンベンションホール】  
約200席を配置し、集客設備も舞臺、会議や講演会、イベント等、幅広い使用に対応できます。
- Library Dining Hibiya**  
丸巻がプロデュースするレストラン、水が流れる落ち着いた大人の空間を提供します。
- コンシェルジュ カウンター**  
コンシェルジュにより館内情報の紹介や周辺資源をコーディネートするサービスです。
- 常設展示室**  
江戸・東京をテーマとし、千代田区の歴史をわかりやすく解説した展示室です。
- 特別展示室**  
学術的なテーマから芸術的なテーマまで様々な展示を行い、会期外には一般に貸出します。
- Library Shop & Café Hibiya**  
本に親しみながらカフェタイムを過ごせるスペースで、ライブアットメニューも充実しています。
- 図書総合カウンター**  
貸出・返却・コピー対応や本・資料に関する相談も受け付ける総合窓口です。
- 図書フロア [2F]**  
～まちづくりと情報・交流～  
「新聞・雑誌」「まちづくり」「ビジネス」「キャリアデザイン」のカテゴリーに分類されています。「情報/メディアコーナー」や「録音台文庫コーナー」もあります。
- 図書フロア [3F]**  
～教養と創造・学び～  
「アート」「文学」「カルチャー」「科学技術」「ライフスタイル」のカテゴリーに分類されています。「アート情報支援コーナー」や「特別展示コーナー」もあります。
- 小ホール [Studio+]**  
定員約80名。会議やセミナーだけでなくミニコンサートなど多様な利用が可能です。
- 会議室 [セミナールームA・B]**  
定員24名とするセミナールームが2室、プロジェクトも対応できる会議室や打ち合わせ等に使用できます。
- 交流支援室**  
館内情報やミュージアム連絡会の区内美術館・博物館等の情報を提供します。
- 特別研究室**  
資料の深い特別研究を促す、内田篤吉文庫、一ツ橋本を中心とした貴重な資料を手にとってご覧いただけます。

男子トイレ 女子トイレ だれでもトイレ  
インフォメーション 閲覧席 南境  
エレベーター 車椅子用リフト 貸書席  
レストラン カフェ ショップ  
投票室 \*ご利用は、スタッフへお申し出ください

開館時間 平日10:00~22:00 土10:00~19:00 日祝10:00~17:00  
\*B1F レストラン 平日11:00~21:00 土11:00~19:00 日祝10:00~17:00  
\*1Fカフェ&ショップ 平日11:00~19:00 土11:00~17:00 日祝11:00~17:00  
\*4F特別研究室 平日10:00~18:00 土10:00~18:00 日祝10:00~17:00



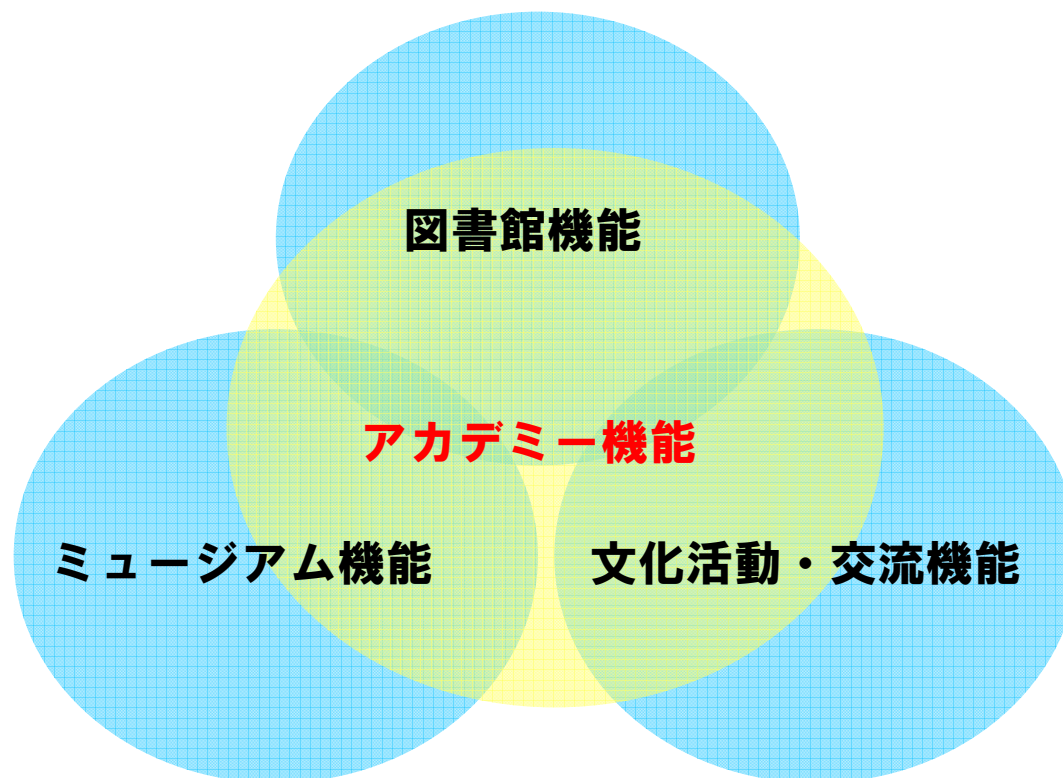
## ● 目比谷図書文化館の歴史

- 1908年 明治41年、東京市立日比谷図書館として開館。
- 1945年 東京大空襲で全焼。
- 1957年 都立日比谷図書館として落成（現建物）。
- 2008年 千代田区へ移管。
- 2009年 指定管理事業として、日比谷ルネッサンスグループが受託。
- 2011年 11月4日（予定）、リニューアルオープン。



## ● 日比谷図書館のコンセプト

4つの機能を融合、「図書文化館」という新しい概念の育成と活用を図る。



公共の施設として場所やサービスを提供するだけでなく、多彩なプログラムを積極的に展開

# 日比谷図書文化館 館内概要

- ・開館時間

10時～22時（土曜は19時、日曜・祝日は17時まで）

- ・休館日

毎月第3月曜日・12月29日～1月3日・特別整理期間

- ・施設規模

地上4階・地下1階

- ・蔵書数

約15万冊

階数	施設名	内容
1階	コンシェルジュカウンター	館内紹介のほか、区内美術館・博物館の案内
	常設展示室	「環境・人間・都市」をテーマに、千代田の古代から現在までの歴史を区の文化財とともに展示。
	特別展示室	期間ごとにテーマを決めた各種の展示を行います（展示により入室は有料）。一般の方も利用できます（利用は有料）
	ショップ&カフェ（library Shop&Café Hibiya）	本に親しみながらカフェタイムを楽しめます。
2階	図書総合カウンター	本の貸し出しや返却、図書資料に関する相談を受け付けます。
2階	開架書架	4つのゾーンに分類して図書を配架します。また、情報メディアコーナーやアート情報コーナーなどを設置します。
3階	閲覧席スペース	
4階	特別研究室	内田嘉吉文庫をはじめ、明治時代の和書等の貴重な古書を直接手に取って読めます。また、同室内に設置する特別研究席は、読書や自主的な研究にも利用できます（利用は有料）。
	小ホール（Studio+<スタジオプラス>）	会議やセミナー、ミニコンサート等に利用できます（定員60名・利用は有料）
	会議室（セミナールームA・B）	会議や打合わせ等に利用できます（定員24名・利用は有料）
	交流支援室	館内や区内施設のイベントなどの情報を得るスペースとして利用できます。
地下1階	大ホール（日比谷コンベンションホール）	講演会やイベント、会議等に利用できます（約200席・利用は有料）
	レストラン（Library Dining Hibiya）	本を読みながら食事ができるくつろぎの空間を提供します。



# 日比谷図書文化館 施設の概要 地下1階

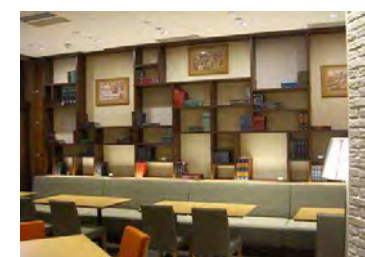
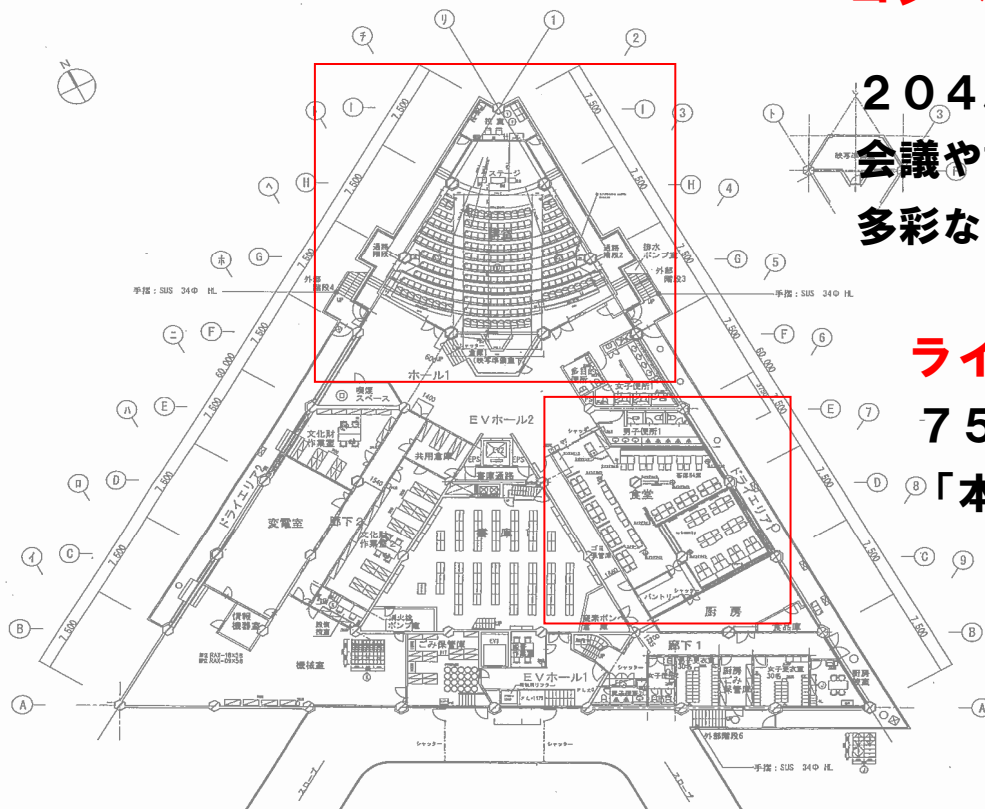
## コンベンションホール

204席配置。コンベンションほか、  
会議や講演会、シンポジウムなど、  
多彩なアカデミー機能に対応。

## ライブラリィ・ダイニング 日比谷

75席配置のレストラン。

「本が読める落ち着いた大人の空間」。



● 施設の概要 1階

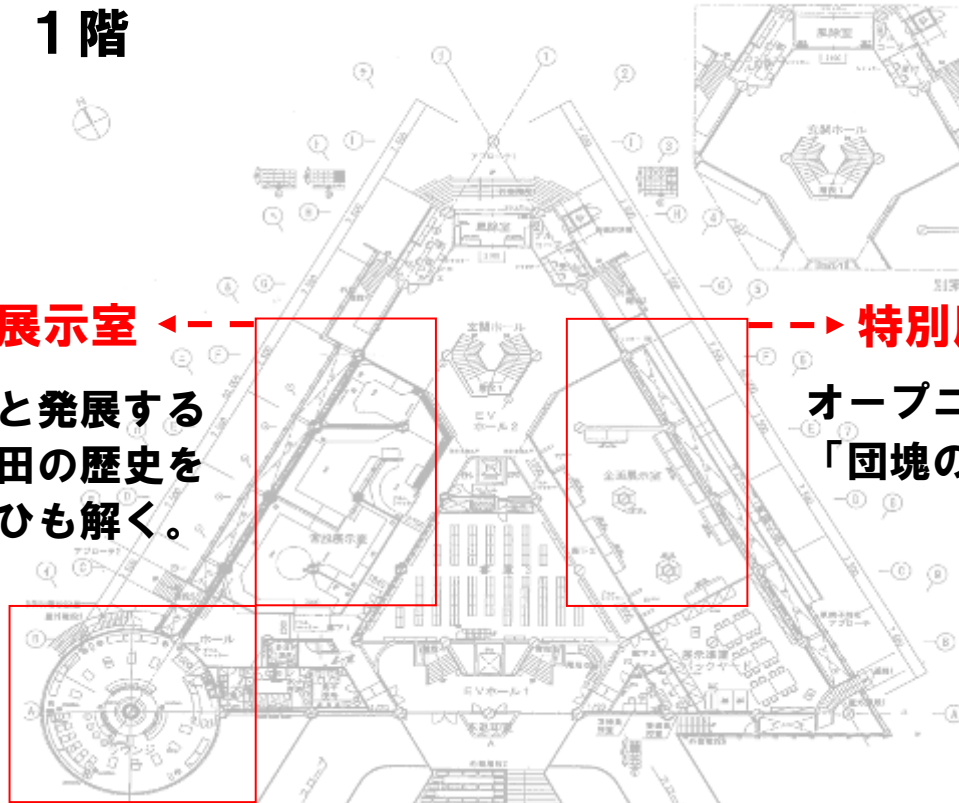


常設展示室 ←

江戸から東京へと発展する  
都市の変遷と千代田の歴史を  
多彩な展示手法でひも解く。

→ 特別展示室

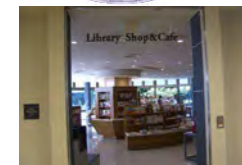
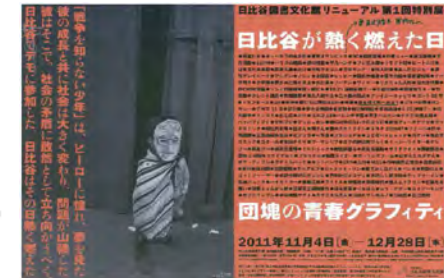
オープニング特別展 有料：300円  
「団塊の世代。日比谷ふたたび」



ライブラリショップ & カフェ 日比谷

テイクアウトもできるカフェスペース 17席配置。

図書館に書店を併設。



総合受付カウンター



2階 「まちづくりと情報・交流」

- ・新聞・雑誌
- ・まちづくり
- ・ビジネス
- ・キャリアデザイン

特別展示コーナー



3階 「教養と創造・学び」

- ・アート
- ・文学
- ・カルチャー
- ・科学技術
- ・ライフスタイル



**特別研究室**

内田嘉吉文庫を始めとする貴重な古書を、直接手に取り、閲覧できる特別研究席を設置。  
自主研究などの個人利用にも有料で提供。

**セミナールーム A・B**

各定員25席。  
講座やミーティングなど、多彩なアカデミー機能に対応。

**小ホール**

定員60席。六角形・二層吹抜けの、ユニークなスペース。  
防音仕様でコンサートも可能。

